

脚本：村井さだゆき / 作画監督 キャラ：牧 孝雄 メカ：福島秀機 /
絵コンテ：日高政光 / 演出：三好正人 / 初回放送日：06/05/04

Deja Vu

【あらすじ】

廃墟の異世界が現実なら、舞浜での日常は何だというのか。困惑するキョウはふと出会ったハヤセに中学時代の過ちを詫びるが冷たくあしらわれる。キョウは戦場と舞浜とを行き来しながら、舞浜での日常を現実だと思い込もうとするが、母親を含めた日常の違和感に気付いてしまう。

キョウの回復具合は順調に見えたが、出撃要請を受けたキョウはアルティールに転移できなかった。仕方なくリョーコの台本読みに付き合うキョウは公園のタコの遊具に幼い日の落書きを見つける。だがそのとき感じたデジャビュがキョウの意識を戦場へと向ける。出撃したキョウが見たものは廃墟と化した舞浜だった。

【登場人物】

- **クラシゲ (クラゲ)、ミズサワ** 「胡蝶の夢って知ってる？」(1話～)
眼鏡と白衣がお揃いの、理科教師兼水泳部顧問とスクールカウンセラー。
- **クロシオ、イリエ** 「このまま元に戻るのも危険なんだよな、彼の場合」
1話から登場。オケアノスのブリッジ要員にして舞浜南高校生徒会役員。

【チェックポイント】

- 「2022年 IAL ジュニアオリンピック水泳競技大会」のポスター。
- ハヤセとキョウを見守るミズキとリョーコもデジャビュを感じる。
- クラゲの授業「えー量子力学では、観測者が居て初めて波束の収束が起きると教えてくれるが、一人の人間の意識を観測する者は本人以外ない。えー故に、意識は外部からは常に量子状態としてしか把握しがたく、それをそのままデータとして外部の者が取り出すことは不可能なのだ。しかし、ここで量子力学のもう一つの不思議な性格、すなわち粒子と粒子の絡み合いという現象を利用すれば、離れた場所へ、その量子状態をそっくりそのまま移動させることが可能となる。ただしこの場合、コピーではなくあくまで移動。つまり、元のデータは消えてなくなる。この量子テレポートを可能にした粒子の絡み合いのことを**エンタングル**と呼ぶ」
- シマ「戦闘データを持ち帰らせるな。このエリアの敵機は殲滅しろ」